

国民民主

KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主党 国民民主プレス 編集部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3 Nagatacho GRiD 4F

TEL: 03-3593-6229 MAIL: info@new-kokumin.jp

HP: new-kokumin.jp ・通常号 定価1部200円 (税込み)

・年間購読料 1,000円 (送料含む) 隔月第4金曜日発行

最新情報は
ツイッターで
チェックできます



つくろう、
新しい答え。

特別号

埼玉第14区総支部特集

令和3年7月発行

□連絡先: 国民民主党 埼玉県第14区総支部 〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347 Tel.048-948-2441 Fax.048-948-2071



今、即戦力の鈴木よしひろさんが必要です! 玉木雄一郎代表

国民民主党・玉木代表からの メッセージ

コロナ禍の中、経験があって地域の声もしっかり汲み取ることのできる政治家が、今、求められています。即戦力として経験のある、そして改革精神を持った鈴木先生は是非、国政に必要です。そのためのご協力を党の代表として、私からもお願い申し上げたいと思います。今、国際的な問題では、中国からの尖閣諸島への連日に渡るプレッシャーがかかってきています。こういった安全保障についても保守系改革派の鈴木よしひろ先生が是非とも必要です。どうぞ一緒に頑張りましょう。(5月29日)

鈴木よしひろさんが訴える...

第204国会も終了し、今年の秋に衆議院議員の任期が迫る中、埼玉県第14区総支部長を務める前衆議院議員の鈴木よしひろさんに今の国政や今後の課題について語って戴きました。

国会を延長しな かった政府与党 の姿勢に疑問。

第204国会が6月16日に閉幕しました。今国会では新型コロナウイルス対策で「まん延防止等重点措置」が新設された改正特別措置法や、デジタル庁を創設する「デジタル改革関連法」などが成立、政府は提出法案の成立率は97%で過去5年の通常国会で最も高いと胸を張っています。しかし、新型コロナウイルスは予断を許しません。刻々と変わる状況の中で、その対応のためには、国会を延長すべきという私たちの主張に対し、頑強に反対し、早々に国会を閉じた政府与党の姿勢には、大きな疑問が残ります。

リバウンドに 対するシナリオ を明示せよ

7月23日から東京オリンピックが開催されます。これにより人流が一段と増えることは明らかです。政府は、8月22日まで東京への4度目となる緊急事態宣言と埼玉県などへの重点措置の延長を決めました。



松伏町長選挙で鈴木まさる候補を応援

菅総理は8日の会見で「先手先の予防的措置」と訴えますが、五輪期間中や五輪後

に感染拡大が起きる場合については全く触れません。また、「今や世界でも最も速いスピードで(ワクチン)接種が行われている」と強調しますが、五輪開催までに必要とする国民すべてに接種が間に合わなかったことへの反省もありません。

一方、政府が6月25日に発表した月例経済報告では、景気の全体判断を「持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している」に据え置きました。既に惨憺たる状況に追い込まれている飲食店や観光業は、一歩間違えば、大変な状況になり、日本経済がさらに悪化します。〈裏面に続く〉



拡大役員会で政策を訴える



杉戸町長選挙で古谷松雄候補を応援

希望的観測ではなく、 最悪を想定し、行動すべき

私は政治を担う者は希望的観測を排し、常に最悪の状況を想定しながら政策を考えるのが責務と思っています。今、必要なのは、政府の「感染を押しさえ込み、安心・安全な開催に全力をあげる」という安直な言葉ではなくて、リバウンドやパンデミックを想定し、その規模や被害状況に応じて、あらかじめ何段階かの対策や支援策、補償のシナリオを作り、明示することです。それを元に、はじめて企業も対策を準備し、個人も備えが出来るわけです。政府与党は国会閉会中は、閉会審査で対応すると言っていました。これが、これを有効性ある議論となるように厳しく求めていきたいと思えます。



国政改革と日本の進路を提言

防災への国家の役割に 新たな議論を

7月3日、静岡県熱海市の伊豆山地で大雨の影響で大規模な土砂崩れ・土石流が発生しました。尊い人命が失われました。犠牲になられた方々からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。上流側の開発現場の盛り上げが崩壊したという報道もあり、今後、しっかりとした検証と対策が必要です。さらに山陰や北九州など各地に線状降水帯が発生し、それによる豪雨の予報が出されています。浸水や崖崩れなどの被害が非常に心配です。振り返れば2020年の熊本豪雨、2019年の台風19号と九州北部豪雨、2018年の西日本豪雨と、近年、日本列島は毎年のように豪雨とそれによる河川の氾濫、土石流などで甚大な被害を受けています。国民の意識も高まり、国や市町村もハザードマップを元に、「ここは大雨が降ったら危険です」「危険になったら早めの避難をしましょう」と言いま

すが、果たしてそれだけで良いのでしょうか。個人に行動を委ね、国、市町村は、どうするか答えを出してきませんでした。

私が最近、思うのは、自然災害が激甚化する中で安全・安心に暮らすために、そろそろ国家的な議論が必要になっていくのではないかとこのことです。

宅地開発行為を行う際に、ハザードマップで危険のある土地に新たに住む必要があるのか。今、住んでいくところに壁をつくり、堤防を高くするの必要ですが、それでも危険性があるところにお住まいになっている方々は、そのまま良いのか。人口減少社会に突入する中で、国土強靱化ばかりではなく、人口の列島再配置という発想も必要です。これは県や市町村では行えません。国家的議論が必要な段階にきていると思います。

国の大きな枠組みをつくることも政治の使命です。新型コロナウイルスの対応など、目下の課題に全力を挙げることと、あわせて、国家百年の計を真摯に議論し、かたちにしていく。このふたつのことを常に考え、今後とも全力を尽くしてまいります。(7月9日談)



第41期三郷リトルシニア卒団式



三郷JCカップサッカー大会の開会式

前衆議院議員 鈴木よしひろ・埼玉県14区総支部長 経歴

昭和37年、三郷市戸ヶ崎生まれ ■三郷市立吹上小～栄中学～日本大学第一高校～日本大学理工学部卒 ■参議院議員・(故)土屋義彦秘書～平成11年、埼玉県議会議員初当選(4期)、自民党埼玉県連青年部長等を歴任 ■(社)越谷法人会青年部役員、市内小学校PTA顧問、県立三郷高校PTA・後援会顧問、(社)三郷青年会議所OB会会員(第19代理事長)、三郷市スポーツ少年団顧問、三郷リトルシニア

チーム会長、三郷市サッカー協会会長、三郷市囲碁将棋連盟顧問、(一社)埼玉県ペタンク・ブール連盟顧問、日本大学校友会埼玉県支部顧問等を歴任 ■平成24年12月衆議院議員初当選 ■平成26年12月衆議院2期目当選 ■平成29年10月衆議院選挙で62,733票を戴くも苦杯、現在、国民民主党埼玉県第14区総支部長に就任、活発に政治活動中

連絡先 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347 〒341-0044 Tel.048(948)2441 Fax.048(948)2071 E-mail:officeszk@yosshisuzuki.com

新型コロナウイルス 関係サイト

情報は日々、更新されます。
最新情報をご確認下さい

首相官邸



埼玉県



Webで情報発信中!

鈴木よしひろさん公式ホームページ
www.yosshisuzuki.com



facebook もご覧下さい。
よろしかったら友達申請も
お願い致します。

鈴木よしひろ [公式] が LINEアカウントに登場!



登録は左QRコードより
お願いいたします。
友だち追加されます。